

広報

てび

2011 11

No. 450



- 特集1 第4次目出町総合計画 後期基本計画策定
- 特集2 学力と学習状況を調査
- 特集3 読書のすすめ

写真は、若宮八幡神社の大祭での稚児行列の参加者。

日出町の未来を描く

まちづくりの指針となる「第4次日出町総合計画 前期基本計画」が平成22年度で終了しました。これに伴い、今後5年間のまちづくりの方向性を示した後期基本計画を策定しました。
今後、この計画の実現に向け、具体的な施策や事業を示す実施計画の策定作業を進めていきます。

住んで良かった、
住んでみたいまち
づくりを目指して

まちづくりを行うにあたり、町の将来像を明確にした総合計画を策定する必要があります。

総合計画は、町政運営の基本的な考え方から具体的な施策や事業までを一貫して示すために、基本構想、基本計画、実施計画からなっています。

日出町は平成18年7月に「第4次日出町総合計画」を策定し、平成27年度までの10年間のまちづく

り計画を示しました。

その中で、町の将来像を「人と自然が調和したふれあいと活力あるまち」と定め、この5年間、町民皆さまと行政が連携し協働するまちづくりをめざし、前期基本計画に沿って各種施策を実施してきました。

しかしながら、急速に進む少子高齢化や行政に対する意識の変化、深刻な財政状況など、町を取り巻く状況が大きく変化する中、計画の見直しを迫られました。

そこで、平成23年度から今後5年間を見通した行政課題を整理し、解決に向けた施策をまとめた、後期基本計画を策定しました。



町が目指すまちづくりの柱

「人」を大切に
まちづくり

●防災体制の確立

東日本大震災での教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しを行い、町民皆さまと行政が一体となった備えを行っていきます。
●健康づくり



災害時の緊急情報などを素早く住民に伝える防災行政無線

高齢化が進む中、生涯にわたって健康で、生きがいを見つけ、自立して暮らすことができるように、担当部署にとらわれず、全庁的な取り組みにより、行政と町民皆さまが一体となった健康づくりを推進します。

「自然」と調和した

まちづくり

●自然への回帰（環境整備）

東日本大震災により原子力発電に対する安全性が見直され政策の



役場本庁舎や小田城浄水場に太陽光パネルを設置。豊岡小学校新校舎の屋根にも設置予定

転換が図られようとしています。再生可能エネルギーが注目され、節電や環境に対する意識が高まっています。町としても、自然を大切にしたまちづくりを強化していきます。

「ふれあい」広がる

まちづくり

いざという時に支え合う地域力をいかに向上させていくかも大きな課題です。少子高齢化の時代、希薄化しつつあると言われる地域



APUの学生と地域の方が国際交流。田植えの後には、昼食をとりながら親睦を深めました

「活力」あふれる

まちづくり

コミュニティの再生と強化を進めていかなければなりません。人と人との交流は地域の活性化につながります。そのために、地域活動の支援や国際交流などを推進していきます。

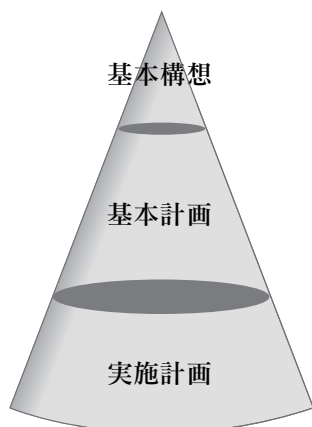
日出町はいろいろな資源が眠っており、それを生かしていくことが町の活性化につながります。インフラ整備や観光整備、産業振興のための支援を行っていきます。

① 農林水産業、商工業、観光産業の振興、雇用対策で活力を育てます。

② 大学等との連携で、観光などの資源の育成を行います。

③ 市街地整備、道路整備、公共交通機関の整備などを進めます。特に、陽谷駅周辺整備や歴史的風情のある街並み整備を行います。

総合計画の構成



●基本構想

町が目指す将来像とそれを実現するための方向性を示すものです。

●基本計画

基本構想に掲げる将来像を実現するため、施策を分野別に体系化し、施策ごとに成果指標と目標を達成するための、主な事業を定めたものです。

●実施計画

基本計画に基づき、具体的な施策や事業内容を示すものです。



陽谷駅の利便性の向上や、人が賑わう空間づくりを目的に、駅周辺整備を進めています

「学力」と「学習状況」を調査

4月19日に、県下一斉に行われた大分県基礎・基本の定着状況調査の結果と、今後の取り組みについて報告します。

この調査は、小学5年生と中学2年生を対象に、「学力」と「学習状況」について把握するもので、大分県独自に平成17年度から実施されているものです。

*このテストは大分県独自のものですが、他の都道府県でも同様の調査を実施しており、その平均正答率を全国平均として、日出町の平均値と比較しています。

中2で全教科全国平均上回る

学力テストでは、小学5年生で「国語・算数」、中学2年生で「国語・数学・英語」が実施されました。

表①は、学力テストにおける日出町と全国平均との比較を示しています。

小学5年生は国語も算数も全国平均を下回りましたが、中学2年生では3教科とも全国平均を上回りました。

表① 学力テストにおける日出町と全国平均との比較

小学5年生		国語	算数
本年度	日出町	67.8	75.2
	全国	69.4	78.6
昨年度	日出町	66.0	75.3
	全国	67.0	77.6

中学2年生		国語	数学	英語
本年度	日出町	74.3	67.6	67.3
	全国	71.2	66.4	64.5
昨年度	日出町	76.1	72.4	73.0
	全国	73.6	67.4	79.3

地道な努力が実を結ぶ

3年前小学5年生だった子どもたちが、今年中学2年生になっています。

表②では、この間の取り組みによる成果をみるため、この学年の当時と今で、全国平均を100とした場合の日出町の平均正答率の変化を示しています。

国語では、4.1ポイント、算数（数学）では0.2ポイント伸びています。

朝自習を利用して漢字や計算ドリルを行ったり、放課後に補充学

表② 3年経過後の学力の変化を示したもの

平均正答率の全国比	20年度	23年度	伸び
	小学5年生	中学2年生	
国語	100.3%	104.4%	4.1%
算数・数学	101.6%	101.8%	0.2%

習を行ったりと、基礎を確実に定着させる取り組みを行ってきた。

また、授業の改善として、自分たちで考え、その意見を互いに話し合う場を設けることで、考えをまとめる力、話を聞く力を養ってきました。

家庭での学習習慣を身につけさせるため、家庭学習ノートを作り、家でどのような学習をしたのかを書かせるようにしました。

表③ 昨年と今年の学習状況調査の結果

学年	小学5年生			
	勉強時間分/日	TV視聴分/日	ゲーム分/日	読書量冊/月
23年度	69	91	35	5.9
22年度	61	108	44	8.7

学年	中学2年生			
	勉強時間分/日	TV視聴分/日	ゲーム分/日	読書量冊/月
23年度	94	96	25	3.9
22年度	94	110	33	4.5

こうした地道な努力が、学力の向上に結び付いたと考えています。

テレビやゲームの時間は減少

表③は、昨年と今年の学習状況を調査した結果です。

小中学生とも昨年に比べてテレビを見る時間やゲームをする時間が減っていることが分かります。

小学5年生では、学習時間が増えたものの、中学2年生では変化は見られませんでした。

表④ 学習状況調査

調査項目	日出町	全国
自分で計画を立てて、勉強している	26.2%	30.0%
集中して勉強している	30.6%	34.8%
相手の話をしっかり聞き取っている	28.2%	37.2%
登場人物の気持ちを思いながら、本を読んでいる	28.6%	36.7%



読書量は、小中学生ともに減少しています。

小学5年生では、テレビやゲームの時間が減り、勉強時間は増えたにもかかわらず、昨年度の結果や全国平均を下回る結果となりました。

学習方法に問題

表④では、学習状況などについての調査結果を示しています。

勉強中は「集中している」や「自分で計画を立てている」、「相手の話を聞く」などの質問に対して、「できていない」と回答した子どもは、全国平均を大きく下回

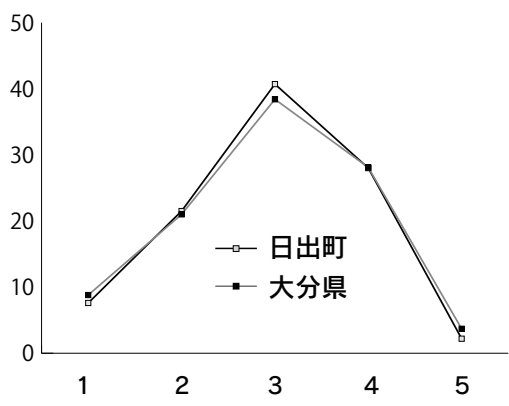
りました。学習時間は増えたものの、学習方法の改善が必要です。

成績下位層が県平均を上回る

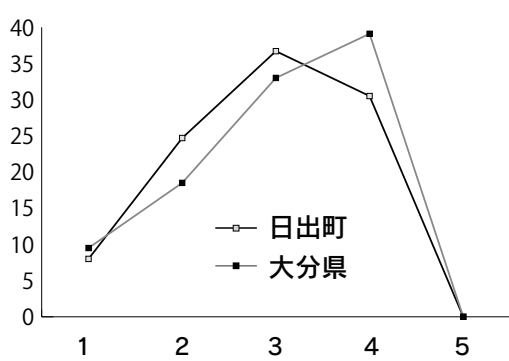
グラフ①、②は、小学5年生の国語と算数の偏差値を、5段階に分けたときの割合で、日出町と大分県平均を比較したものです。

国語では、上位層がわずかに少ないものの、ほぼ県平均と同じ割合になっていますが、算数を見ると、偏差値下位層である2や3の割合が多く、上位層の4や5の割合が少ないことが分かります。これまでの放課後補充学習に加

グラフ① 小学5年生国語



グラフ② 小学5年生算数



え、昨年度から、夏休み中の補充学習を始めました。偏差値下位層の児童生徒を、いかに減らしていくかが課題です。

家庭との協力が不可欠

学力テストで常に上位に入る秋田県では、小学3年生までに学校と家庭が連携して自分で学習する「自学」の習慣を身につけさせるため、毎日出された宿題をしたかどうか、家庭で確認するという協力体制を築いています。

日出町でも、学校と家庭が協力し、基本的な生活習慣や自ら進んで学習する姿勢を、しっかり身につけさせる必要があります。



今年度配置された、学力向上支援教員の一人
藤田里美 教諭 (川崎小学校)

学力向上に向けた学校での取り組み

平成19年度に全国で開始された学力調査では、大分県の成績は30位台〜40位台で推移しているという結果がでています。これを受け、県教育委員会では、平成23年度までに大分県の成績を九州トップクラスに引き上げるという目標を掲げました。

日出町としても、学力向上に向け学校現場では様々な取り組みが行われています。

学力向上支援教員を配置

町内の小学校に、「学力向上支援教員」を2人配置しています。

支援教員には、優れた授業力が求められます。学力向上対策の中心的な存在として、自ら所属する学校だけでなく、他校にも出向き、授業を公開したり、他の教諭に対して指導助言をしたりします。

日出町の小中学生の学力テストの結果を見ると、算数・数学で「知識」に関する問題の正答率が高いようですが、「活用」に関する問題の正答率が低いという分析結果

がでています。

自分で考え、答えに導く力が不足しているようです。授業改善を行い、活用力問題にも強い児童生徒を育てていく必要があります。

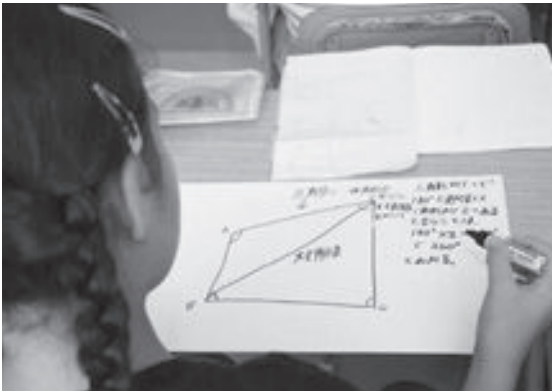
支援教員は週に2日、所属する学校から他校に派遣され、4年生・5年生を中心に数学の授業を行います。

支援教員が授業を行う際、学級担任は子ども一人ひとりの様子をチェックし、つまづいている子どもをサポートします。また、学級担任が授業を行うときは、支援教員がフォローに回り、お互い連携しながら効率的に授業を進めていきます。

授業改善で、
考える力・まとめる力を伸ばす

支援教員の一人である藤田里美先生の授業。児童が授業の中でつまずきやすいところをあらかじめチェックしたり、必要があればワークシートなどを作成したりします。授業前には、学級担任との打ち合わせも行います。

授業に入るとまず、『めあて』と書かれたシートを黒板に貼り付けます。続いてその横に、『四角形の内角の和を調べよう』と板書しました。この授業の目的を明確にす



自分で考え、答えを導く児童

るためです。「1時間完結型授業」を取り入れ、その限られた時間の中でただ教えるだけでなく、児童たちが自分で考え、お互いの考えについて、意見交換の場を確保することも大事にしています。

児童たちは、四角形の和が何度になるのか、準備したシートにそれぞれの考え方を書きました。児童の多くが手を上げ、その内の何人かが発表しました。答えは一つとは限りません。児童によって説明方法が違います。意見交換をしながら学び合うことで、「考える力」「まとめる力」「人の意見を聞く力」を養うことができるのです。また、板書の仕方を工夫し、板書とノートの一体化を図ることで、ノート整理しやすく時間短縮につなげています。

つまずき解消に 夏休み補充学習

児童一人ひとりのつまずき解消を目的とした「夏休み補充学習」を行っています。

夏休み中に5日間、4年生から6年生までを対象に実施され、算数を中心に各自の弱点を補強する

ため、教室に教諭を数名ずつ配置し、きめ細かな指導を行うとともに、学校によっては、それぞれの児童の目的に合わせてクラス分けをするなど、工夫した取り組みが行われました。

学校支援ボランティアの活用

町内各小学校で、学校支援ボランティアを募集しています。

地域力を生かし、より効果的な学校支援を行っていただくことで、教育環境の充実を図ることを目的としています。

豊岡小学校では、平成16年度から学校支援ボランティア制度を導入しています。

専業主婦や現役を引退した高齢者など、現在25人が登録しています。

ボランティアの方には、それぞれ得意な分野でお手伝いをしていただきます。テストの採点、漢字や裁縫の指導、校外活動の引率などさまざまな活動があります。

学習補助により先生たちにも時間的な余裕が生まれ、より効果的な授業を行うことができます。

スクールミュージアム

芸術会館巡回美術展

大分県立芸術会館より、日出町出身作家の作品や日出町にゆかりのある作品など、およそ40点を日出小学校体育館に展示します。

- 開催日 11月11日(金) 9時～16時
- 会場 日出小学校体育館
- 内容 日本画・洋画・版画・彫刻・工芸等
- 入場料 無料
- 問合せ 学校教育課 ☎ 73 - 3171

小学6年生が作品の説明を行います。

●解説時間 9時～12時

読書のすすめ

読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするためにとても大切な活動です。

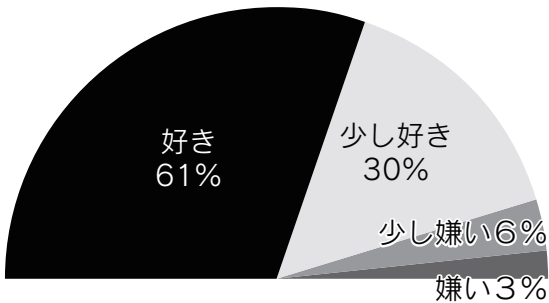
近年の学力低下問題について、読書離れとのかかわりがとても深いことが指摘されています。

そこで、日出町では児童生徒・保護者の読書活動の現状を明らかにするため、今年3月、読書活動の現状に関するアンケートを実施しました。

このアンケート結果を踏まえつつ、学校や家庭での読書活動の推進を図り、これからの人生を豊かにするため、「日出町子ども読書計画推進計画」を策定しました。

グラフ①

本を読むことが好きですか？



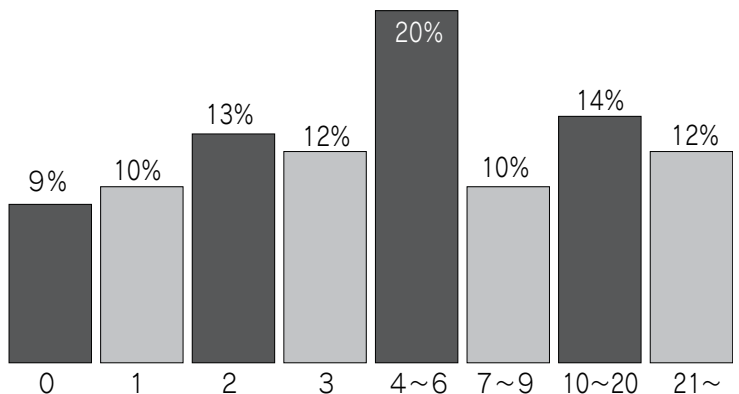
読書活動に対するアンケートを実施

今年3月、児童生徒、保護者の読書活動を明らかにする目的で「児童生徒・保護者への読書活動に係る実態調査」を実施しました。

アンケートは、小学2年生・5年生合わせて187人、中学2年生87人、保育園から中学校までの子をもつ保護者154人、合計428人に協力していただきました。

グラフ② 1カ月の間に何冊の本を読みましたか？

91%の子どもは本が好き



児童生徒に対する質問で、グラフ①の「本を読むことが好きですか」の問いに対しては、「好き」「少し好き」と答えた子どもの割合は91%でした。また、「1カ月間に本を何冊読みましたか」の問いに対しては、グラフ②を見ると、「4冊以上」と答えた子どもの割合が56%あり、読書への関心は相当高いことが分かります。

小説や物語が人気

グラフ③を見ると、「どんな本が好きですか」の問いに対しては、小説や物語、絵本などの文学的な読み物で77%を占めており、科学書や伝記などの読み物が少なく、読んでいる本の種類に偏りがみられます。

上位学年ほど進む読書離れ

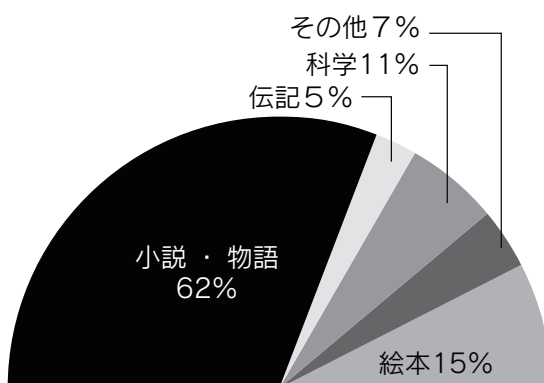
「学校図書館に勉強時間以外に行きますか」との問いに対しては、「よくある」と答えた小学2年生は36%でしたが、中学2年生では、15%にまで減少しています。学年が進むにつれ、図書館離れが進む傾向があるようです。

小学5年生から、日課表の中で「読書の時間」が消えたことが影響していると考えられます。

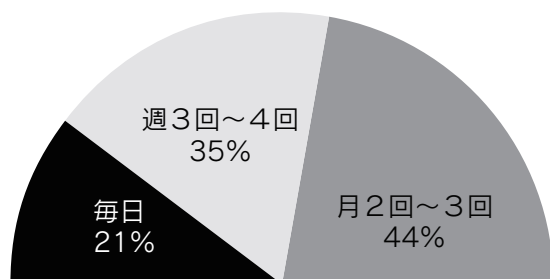
記憶に残る読み聞かせ

保護者向けの読書調査から、「あなたも、子どもに絵本や物語を読んであげることがありますか」の問いに対して、「よくある」と答

グラフ③ どんな本が好きですか？

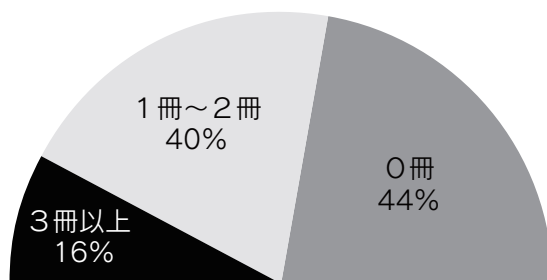


グラフ④ 子どもに、どのくらい本を読んであげていましたか？



えたのは61%でした。子どもへの質問で「読み聞かせをしてもらった経験がありますか」の問いには

グラフ⑤ あなた自身1月に何冊の本を読みますか？



81%の子どもが「ある」と答えています。読み聞かせをしてもらった記憶が、いつまでも心に残っていることが分かります。

また、グラフ④を見ると「読み聞かせの回数」では、毎日が21%、週3～4回が35%、月に2～3回が44%となっています。

保護者に読書への興味を尋ねると、「大好き」「好き」合わせて70%と高いが、グラフ⑤を見ると、1月に読む冊数は「3冊以上」が16%、「0冊」が44%でした。本は好きだが、多忙のため読む時間がないということでした。

読書活動の重要性について、保護者の理解を深めることが求めら

れています。

日出町子ども読書活動推進計画を策定

読書を通じて、子どもたちは読解力や想像力、思考力、表現力等の基礎力を養うとともに、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを覚え、さらなる探究心や真理を求めようようになります。

近年、学力低下が問題になっています。

これは、子どもたちの読書離れとも非常に関わり合いが深いということも指摘されています。

前ページの「学習状況調査」からも、小学5年生・中学2年生とも読書量が減っているという結果がでてきます。

小さなころから、本と親しむ習慣を身につけさせるためにも、行政と家庭・学校・地域が一体となつて、読書活動の推進を図る必要があります。

そこで、日出町における読書活動の実態を踏まえた「日出町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

次ページに、計画の概要とその取り組み状況について説明します。

いつでもどこでも読書ができる環境の整備・読書習慣の形成

家庭・学校・地域で進める「子ども読書活動」

行政

ブックスタート事業

日出町では、4カ月児健診の際、ブックスタート事業が行われています。

健診の待ち時間に、ボランティアの方による読み聞かせが行われ、すべての赤ちゃんに絵本をプレゼントします。

これは、文字を早く覚えさせる早期教育ではなく、優しく語りかけることで赤ちゃんと言葉が合う、大切な時間を作ってもらいたいと実施されているものです。心の成長にとっても大切なことだと言われています。

幼稚園・保育園

読み聞かせ

幼稚園や保育園では、絵本の読み聞かせが毎日の保育活動として



幼稚園の降園前の読み聞かせ

取り入れていきます。

この時期の子どもは、絵本や物語などを見たり聞いたりした内容を自分の経験と結びつけながら、想像したり、表現したりすることを楽しみます。また、基本的な生活習慣を学ぶための読み聞かせなども実施されています。本に出合い親しむ環境の充実が必要です。

家庭

読書の習慣づくり

家庭では子どもが読書をする時間を設け、その習慣を身につけさせることが大切です。

ブックスタートを機に親が読み聞かせを行い、読書を通じて子どもが感じたことや考えたことを話し合うなど、親子のふれあいの機会として家庭読書を進めることが必要です。



萬里図書館で毎月開催される読み聞かせ

学校

読書活動の充実

町内すべての小中学校で、10分〜15分の朝読書に取り組んでいるとともに、読み聞かせグループによる読み聞かせが行われています。

読書活動の充実のため、「朝読書」「読み聞かせ」「読書集会」「図書館だより」の活動を継続するとともに、回数や時間を増やす工夫が必要です。



朝自習の時間に読書する中学生

また、小学5年生から中学3年生にかけては、言語活動充実の1環として新聞記事を使った授業を取り入れていきたいと考えています。

他にも、目標とする読書量を定めるとともに、一定のテーマに沿って何冊かの本を紹介する「ブックトーク」などを積極的に取り入れていきます。ブックトークでは、本の内容を教えるのではなく、面白さを伝え、読んでみたいという気持ちにさせることを目的としています。

萬里図書館

読書に親しむ機会の提供

早い時期に読書が習慣化すれば、その習慣は一生変わらないと言われています。

本に慣れ親しむ機会を与えることが大切であり、そのための環境整備が必要です。

「読み聞かせ」「子どもとしよかんまつり」「読書感想文・読書感想画コンクール」を充実させるとともに、「子ども読書の日」「子どもの読書週間」の趣旨にふさわしい行事を開催していきます。

子どもが読書の楽しさを味わう機会の提供に努めます。



お母さんの温もりを 感じながら本に親しむ

「大好きなお母さんのひびきのり、声をかけてもらう。赤ちゃんにとつて、とても幸せを感じられる時間なんですよ」と話すのは、ブックスタートにボランティアで参加する白水伊保子さん。「内容が分かる訳ではないけど、絵本に興味をもち、笑顔を見せてくれます」と話します。

この事業のおかげで、図書館に通うお母さんも増えたと言います。

上の写真は、生後4カ月を迎え、健診に訪れブックスタートに参加した河村心絢ちゃんとお母さんの美紀さん。家ではすでに絵本の読み聞かせを始めています。「今日は、読み聞かせの大切さや絵本の読み方などを学ぶことができて良かった。家でも実践していきます」と話してくれました。

平成22年度 日出町水道事業会計決算状況報告

炊事や洗濯、入浴など私たちの生活に水は欠かせません。安全で良質な水道水を安定的に供給するため、皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを実施しています。

収入と支出の概要

水道事業は、地方公営企業法に基づき地方自治体が経営する企業として運営されています。

会計制度は、企業の経営成績や財政状態を明らかにするため、企業会計方式を採用しているほか、事業に必要な経費は経営に伴う収入（水道料金収入）をもって充てるという独立採算性を原則に経営しています。

このため、事業の運営に当たっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性を発揮することが求められています。

水道事業は将来にわたり皆さん



給水人口	25,192人
給水件数	9,635件
配水量	3,431,000m ³
一日平均配水量	9,399m ³

項目	金額
収益的収入	382,886
営業収益	382,645
営業外収益	241
収益的支出	336,094
営業費用	298,582
営業外費用	35,635
特別損失	1,877
純利益	46,792

へ安定給水することを使命としており、そのためには、水源の確保や水道施設の整備などの事業が不可欠です。

収益的収支

収益的収支とは、水をつくり、ご家庭に水をお届けするための収支を表したものです。

収入合計382,886千円に対し、支出合計は336,094千円で差引46,792千円の純利益を計上しました。この利益は、国などからの借入金の償還に備え減債積立金に26,

792千円、配水管の更新などに備え建設改良積立金に20,000千円を積み立てました。

資本的収支

資本的収支とは、配水池の建設や配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

収入合計140,259千円に対し、支出合計は353,193千円で212,934千円の財源不足となりました。

この不足額については、積立金や現金の支出を伴わない減価償却費などの内部留保資金で補てんしました。

項目	金額
資本的収入	140,259
企業債	117,900
負担金	2,094
国庫補助金	20,265
資本的支出	353,193
建設改良費	131,664
企業債償還金	221,529
不足額	212,934

藤原住宅・青津山住宅

町営住宅入居者募集

●町営藤原住宅（1戸）

○所在地 藤原459番地1

○家賃 11,800円

17,500円

*浴槽、ボイラー設備は入居者負担。トイレは汲み取り式。

●町営青津山住宅（1戸）

○所在地 川崎4984番地

○家賃 10,000円

「不登校」を考える講演会

「ダイヤモンドの会」では、不登校について考えてもらいたいと、次の日程で講演会を開催します。同会は、日出町老人いこいの家で月に1度例会を開催しています。例会では、保護者の方が体験談や今の気持ちをお互いに話し合い、悩みやつらさを共有します。そうすることで気持ちが楽になり、子どももゆつくり考えることができるようになります。一人で悩まずに、ぜひ参加してみてください。

とき 11月26日（土）18時30分～20時
ところ 日出町保健福祉センター 研修室
講師 加嶋 文哉氏
（星の会代表・不登校大分県ネット会長）
参加 無料、申込み不要。
主催 ダイヤモンドの会
（不登校児の親の会）
問合先 福祉対策課子育て支援係
☎73-3121

14,900円
*浴槽、ボイラーは入居者負担。トイレは汲み取り式。

■駐車場 1台（無料）

■募集期間 11月7日（月）～
11月18日（金）

■抽選日 11月25日（金）10時

■抽選場所 役場3階大会議室

■応募資格

次のすべてに該当する方。

①町内に住所を有するか、勤務先が町内であること。
②入居者の合算所得が年額1,

896,000円以下であること。

③税金の滞納がないこと。

④入居者名義の持ち家がないこと。

⑤独立していて、他の者の扶養に入っていないこと。

⑥住宅に困っていること。

⑦入居者が暴力団員ではないこと。

■申込・問合先 都市建設課管理係 ☎73-3172

幼稚園入園受付

幼稚園の入園申込みが始まります

来年4月から公立幼稚園に入園されるお子さんがいる場合、次の受付期間中に、入園申込みの申請を行ってください。

■対象児

町内在住者で平成18年4月2日～平成19年4月1日に生まれた人。

■申込期間

12月5日（月）～12月16日（金）

■申込場所 各町立幼稚園

■必要なもの 印鑑

■その他

○保育料（月額4,500円）

○給食費（月額4,000円程度）

*保育終了後18時まで預かり保育を実施しています。（別途料金）

が必要です）

■問合先 教育総務課 ☎73-3157

移動町長室開催中

町長と気軽に意見交換しませんか

役場では、皆さんの声を町政に反映させ、今後のまちづくりに役立てるため「移動町長室」を開催しています。

町長自身が伺いして、各団体やグループの皆さんとひざをつき合わせて意見交換をします。

■内容 皆さんが普段考えていること、思っていることを自由に町長とお話してください。

○5人以上の集まりが対象。

○対話時間は1時間から1時間30分程度。

○主催者の希望会場にお伺いします。

■申込方法

電話、FAXで希望の日時、場所等を連絡してください。

*町長の日程を調整のうえ、開催日時を決定させていただきます。

■問合先 政策推進課広報聴係

☎73-3116
FAX72-7294

日出町ポータルサイト「ひじjin.com」

広報紙に掲載されなかった写真やイベントなど身近な情報が満載。

<http://hijjin.com/>



艶やかな衣装をまとい
稚児行列が町を練り歩く

若宮八幡神社創建1050年式年大祭



若宮八幡神社が創建1050年を迎え、10月14日・15日の両日、式年大祭が開催されました。

初日は庄内神楽が奉納され、2日目には、軒の井毛槍保存会による「毛槍ひねり」や艶やかな衣装を身にまとった「稚児行列」が、若宮八幡神社から二の丸館まで練り歩きました。

ほかにも、もちまきや子どもみこし、ひょっとこ踊りなども披露されました。

ひじまちじどうかんまつり

いろいろなお仕事を体験
働くことの大切さを学ぶ

10月15日、町保健福祉センターで、「ひじまちじどうかんまつり」が開催されました。

この日、町保健福祉センターは、子どもが主役の町「キッズタウン」に大変身しました。

キッズタウンにはコンビニやカフェ、保育士、映画館など14の仕事ブースが設けられました。そこでは、働く人もお客さんも子どもたちだけ。

子どもたちは、働きたい仕事を選び、実際にその仕事を体験して給料(キッズ券)をもらいました。もらったキッズ券は、キッズタウンの中で使うことができ、映画館で映画を見たり、カフェで飲み物やデザートを食べたりと多くの子どもたちで賑わいました。





ザビエルの道ウォーキング大会

歴史を感じながら心地よい汗を流す

10月16日、「ザビエルの道ウォーキング大会」が開催され、5km・10km・20kmの3コースに、合わせて650人が参加しました。

10kmのコースでは経塚山を出発し、フ

ゴールの後、参加者には無料で豚汁が振る舞われました。

開催にあたり、参加者の受付や先導、交通整理などに「豊の船の会」「あおぞら会」「豊岡地区婦人会」「商工会青年部」「いろはかるた」「風まち茶屋」の皆さんがボランティアで協力していただきました。

インフルエンザ 予防接種が効果的

正しく知って予防しよう

今年もインフルエンザが流行する時期になりました。インフルエンザについて正しく知り、適切な予防に取り組みましょう。

かぜとインフルエンザの違い

特徴	かぜ	インフルエンザ
流行シーズン	通年かかる	11月末～3月頃
病気の経過	緩やかに進む	急激に進む
初期症状	くしゃみ、鼻水	悪寒、高熱など
発熱	微熱(37～38℃)	高熱(38～39℃)
関節痛	軽度	重い

インフルエンザの予防策

- 手洗い、うがいをしましょう。
- 咳エチケットを心がけましょう。
- 人ごみを避け、不要不急の外出を避けましょう。
- * 普段からの健康管理が重要です。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

予防接種を受けましょう

予防接種は感染予防と重症化予防に効果があります。本格的な流行期の前に接種しましょう。

【高齢者に対する予防接種について】

対象者 日出町に住民票がある次の方

- ① 65歳以上の方(予防接種時)
- ② 60～64歳の方で一定の心臓や腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方。

接種場所 町内の医療機関

期間 平成23年10月1日(土)～平成24年1月31日(火)

接種料 自己負担額1,000円(生活保護受給者は無料)

接種の際必要なもの ①健康保険証 ②60～64歳の方は医師の診断書または身体障害者手帳の写し。

問合先 健康増進課長寿健康係 ☎73-3130

離乳食教室

離乳食に関する相談や試食などを行う教室です。

「離乳食の始め方や進め方が分からない」という方は、ぜひお子さんと一緒に参加してください。前回参加した方も、大歓迎です。

とき 12月13日(火) 10時30分～11時30分

ところ 町保健福祉センター

* 申し込みは必要ありません。

対象 離乳食期(1歳6カ月ころまで)

問合先 福祉対策課子育て支援係 ☎73-3121

健康

子育て

11月の休日当番医

健康増進課 ☎73-3130

* 診療時間は変わる場合があります。
各医療機関や健康増進課にご確認ください。

3日	サンライズ酒井病院	72-2266
6日	河野医院	72-2302
13日	真那井診療所	72-5270
20日	酒井医院	72-2624
23日	日出児玉病院	72-2724
27日	矢野小児科医院	72-1011

12月の休日当番医

4日	鈴木病院	73-2131
11日	サンライズ酒井病院	72-2266

テーマは笑って元気!

講演会

日出町健康づくり推進協議会では、「笑って元気」をテーマに、次の日程で講演会をします。

とき 12月12日(月)

10時～11時30分

ところ 町中央公民館ホール

演題 「笑って元気 日本人の底力」

講師 矢野 大和 氏

* 申込不要、参加無料。

問合先 健康増進課長寿健康係

☎73-3130

日出町地域子育て支援センター
☎28 - 1212

- 子育て広場・子育て相談
月～金 9時～16時
- 赤ちゃん広場（0歳～2歳）
赤ちゃんとママのふれあい広場
9日（水）・17日（木）・22日（火）
10時～12時
- 七五三バックを作ろう（0歳～就学前まで）10日（木） 10時～12時
- エアロビクス教室（0歳～就学前）
11日（金）・25日（金）10時45分～
- 赤ちゃんパネルシアター（0歳～2歳）
17日（木）10時～12時
- お店屋さんごっこ（0歳～就学前）
18日（金）10時～12時
川崎地区公民館
- 11月誕生会（0歳～就学前）
21日（月）11時～

日出町児童館 ☎72 - 0323

- たのしい絵本読み聞かせ（乳幼児）
18日（金）11時15分～11時45分
- チャレンジ・ザ・ランキング（小学生から大人まで 定員30名）
26日（土）13時30分～15時30分
2～4人の1グループで申し込んでください。
- ちびっこあつまれ（乳幼児・要申込）
29日（火）10時～11時30分
- 積み木でおみこしを作ろう（小学生）
30日（水）15時～16時30分

さざんか児童館 ☎72 - 8383

- 赤ちゃん広場（0歳児 要申込）
11日（金）10時30分～
参加費 200円
- 海岸で遊ぼう（小学生対象・要申込）
12日（土）13時～16時
- 絵本の読み聞かせ（乳幼児）
14日（月）10時30分～
- さざんかちびっこ祭り
23日（水）10時～14時30分
- 巡回児童館（中央公民館）
29日（火）10時30分
- 保育園の誕生会に参加しよう（要申込）
11月生まれの乳幼児親子対象
30日（水）10時～
- 親子グループ（10時30分～）
0～1歳親子対象 8日・15日
2歳 “ 10日・17日
3～5歳 “ 9日・16日

参加者募集 プレママ・プレパスクール

出産前の子育て講座

初めて赤ちゃんを産むことは不安ですし、産んだ後はどこに相談すれば良いのかなど戸惑うことがいっぱいです。

日出町では未来のお母さんやお父さんに、育児やママのサポートなど、子育てについての様ざまな知識を学んでいただく講座を開催します。

この機会に出産や子育てについて学びませんか？

ところ 日出町地域子育て支援センター（大神保育園併設）

内容

講座①「赤ちゃんをむかえる心の準備」

とき 11月12日（土）10時～

講師 大分県助産師会の助産師、日出町の保健師

内容 ママの身体と心の変化、新生児の保育、ママが嬉しいサポートなど

講座②「ママを支える心構え」

とき 12月17日（土）10時～

講師 おおいたパパクラブのメンバー

内容 パパの育児支援（育児、家事ほか）、交流会など

対象 出産や子育てに関心のある方（既婚、未婚を問いません）

定員 25組

参加料 無料

その他 どちらか一方の講座のみでも受講可能ですが、できるだけ両方受講してください。

申込・問合せ先 福祉対策課子育て支援係 ☎73 - 3121

両親学級

妊婦さんとその家族を対象に、妊娠・出産・育児についての知識や関心を深めるための教室を開催します。

ぜひ、この機会にご家族の方と一緒に参加してください。

とき・テーマ

○12月3日（土）10時～11時30分（2人で行う子育てについての話、妊婦体験）

○12月18日（日）10時～12時
（制度の話、沐浴体験）

ところ 町保健福祉センター母子保健室

申込 開催日の10日前までに申し込みしてください。

持ってくるもの

母子健康手帳、筆記用具、子育て応援マップ

*動きやすい服装でお越しください。

申込・問合せ先 福祉対策課子育て支援係 ☎73 - 3121

町政

だより

日出町長 工藤 義見

増加が怪しくなる日出町の人口動態

日出町の人口は、昭和40年代に入ると減少から増加に転じ、昭和50年代からは大幅な増加となりました。これは、大分市、別府市への通勤可能な距離であることから、住宅団地を造成したこと、また、町内や国東半島周辺で企業の立地が進んだため、就業者が増加し、町内での居住が促進されたことなどが理由です。

この傾向は今日まで続いており、最近の調査では、大分市、別府市、杵築市、国東市などの周辺市に移動圏域が拡大し、日出町に住む就業者のうち48%が町外に通勤、また町内で働く者の38%が町外からの通勤者となっています。

本年9月末現在の人口は、2万8,653人で、数年前に比べると、急速に人口の伸び率が低下、辛うじて増加を保っているのが現状です。これは、従来とは逆転して死亡者が出生児を上回る傾向になり、一方で転入者が転出者をやや上回るということで、いわゆる社会増によって、人口の増加が維持されています。

町内でも少子化、高齢化の傾向は逐年確実に進んでいます。他市町村で人口の減少があっても、日出町ではさらなる発展策を講じて、人口増加を図り、町勢の発展を図りたいものです。

日出町の特徴を挙げると、周辺市のベツトタウンとしての性格と、他市住民の働く場を提供する産業の町としての性格の両面をもっています。

国道10号線、213号線、県道日出真那井杵築線、空港道路などが走り、さらに高速道路にも近接し、4つのJR駅をもち、交通の便は極めて良好、気候は温暖で恵まれた自然環境、海山の幸に恵まれ美味しい水が自慢。生活環境の素晴らしい町です。

空港や国東半島、そして県北地域と県都をつなぐ中間点に位置し、地勢の優位性、利便性を生かして、県北地域の拠点として生活圏を拡大させ、大いに日出町の地域力と役割を発揮していきたいものです。

ふれあいと交流で賑わいのまちへ

人口減少の時代を迎えている今日でも人口の増えている日出町ですが、ともすれば減少の町に転落しようとしており、これまで以上に各種施策により、町勢の発展を期していかなければなりません。

そのため、日出町では中心市街地の活性化を図り、ふれあいと交流により賑わうまちづくりに向け、JR陽谷駅周辺地区と日出城趾周辺地区を相互に関連づけ一体的に整備を進めてきました。

日出城趾周辺地区では二の丸館を中

心に、裏門櫓、裏門、駐車場、芝生広場、大手通りなどの整備はすでに完成し、このたび石垣と二層の建屋から成る鬼門櫓の一次工事が概成しました。今後、荒壁などの乾燥期間を待って、内装、外装などの仕上げ工事に入り完成させます。

昨年4月28日に、二の丸館の竣工式を行って以来、訪れる人たちも次第に多くなり、開館以来10月中旬までの延べ来館者数は、5万6,984人を数えています。

また、バス158台、自家用自動車1万5,385台、計1万5,543台を数え、約1年半で来館者、駐車場利用者は10倍以上となっています。

二の丸館内では、商品の即売、喫茶コーナーの利用も多くあり、また、空きスペースを利用して、博多人形展、生け花展、藍染め展、絵画・書道展、美術展、写真展などの展示会も盛んに行われていきます。企画実施者の皆さんは、町内外からの方々に、作品などの発表の機会を得て大変喜んでおられ、これまでに19回の開催を数え、来館者も1万9,456人に達しました。

皆さんが、憩い、ふれあう場として、また作品の発表の場として利用されることは喜ばしい限りです。今後とも多くの方々の交流施設として活用を期待したいと思います。

高校跡地もこれから商業地域に

観光面の振興に加えて雇用や地域振興のため、JR陽谷駅周辺整備を進めてきました。高校跡地では用地を取得し、

交差点から陽谷駅までの上下水道の整備、進入道路や街灯の整備を行いました。今年5月10日にはケースデンキの起工式が行われ、着々と工事が進んでおり、いよいよ11月10日には開店の運びとなっています。

開店により、販売地域が日出町の他に国東半島地域、別府市と広範囲であることから、雇用や日出町の振興に大きく貢献してほしいものです。

一方、入り口西側には、亀の井ホテル大分日出店の建設工事も進んでいます。すでに9階までの建屋のコンクリート工事はほとんど出来上っており、来年の完成に向けて内装工事などが進められています。

完成を期して、これまで他市で宿泊していた人たちがこのホテルを拠点に活動することになり、地域経済に波及効果をもたらすものと期待しています。

また、日出町や周辺の商工業者の皆さんと取引関係にある人や、冠婚葬祭において宿泊を他市に求めていた関係者の皆さんなどにも大いなる利便性の確保に貢献できると考えています。

さらに駅周辺の整備として、陽谷駅舎、駅前広場、線路を南北にまたぐ自由通路など、基本計画作成のための入札を行い、現在落札業者により、測量調査や関係者との協議が行われています。特に、駅周辺整備にはJR関係機関との多くの協議が必要です。調査の状況を見ながら、グラウンド跡部分の活用を検討に入ることになります。

(次号につづく)

●行政相談

ところ 役場新館3階332会議室
とき 11月1日(火) 10時～15時
問合せ 総務課 ☎73-3150

●心配ごと相談

ところ 役場新館3階332会議室
とき 11月8日(火) 10時～15時
問合せ 福祉対策課 ☎73-3121

●心配ごと・行政合同相談

ところ 豊岡地区公民館
とき 11月15日(火) 10時～15時
問合せ 総務課 ☎73-3150

●障がい児・者等支援相談

相談先 社会福祉法人「みのり村」みのり障がい者生活支援センター
☎72-2818

●障がい児・者生活支援相談

相談先 太陽の家障害者生活支援センター ☎72-1682
(受付時間：8時～17時)

●高齢者総合相談

相談先 日出町地域包括支援センター
(健康増進課内) ☎73-3115

●家庭児童・母子婦人相談

相談先 福祉対策課 ☎73-3121

●いつでも子育てほっとライン

相談ダイヤル ☎097-545-0110
(24時間 365日受付)

●無料人権相談所

相談先 大分地方法務局杵築支局
☎0978-62-2271

●法律相談 (要予約)

ところ 日出町保健福祉センター
とき 毎月第2・4火曜日(祭日の場合は休み) 13時30分～16時30分
費用 30分につき5,000円
(収入が一定以下の方及び多重債務の相談は無料)
申込・問合せ 大分県弁護士会
☎097-536-1458

新刊案内



「電車顔」

鈴木さちこ：著 鉄道ジャーナル社：刊

ほっこり顔の小湊鉄道、働きマン風の山手線など、鉄道好きのイラストレーターが会った「電車顔」を紹介。

「心のクスリ」

読売新聞医療情報部：編 文藝春秋：刊

不安な時代の生き方、家族との幸福、恋愛で発する生命のエネルギー。読めば元気になる、人生の達人による言葉の処方箋。『読売新聞』連載を単行本化。



「冠婚葬祭でモメる 100の理由」

島田 裕巳：著 文藝春秋：刊

ちょっとした行き違いから人間関係が壊れるのが冠婚葬祭。だれにも相談できない悩みに、著者が100のQ&A。



本を大切に扱って下さい

最近、図書館利用者の中にマナーの悪い人が見受けられます。

マーカーで線を引いたり切り取ったりした本、食べ物のカスなどで汚れた本などが多く見られます。

図書館の本は、みんなのものです。次に読む人の気持ちになって、本を大切に扱ってください。

11月の休館日

3日・7日・13日・14日・21日・23日・24日・27日・28日

読み聞かせ

■ブーフーウーによる読み聞かせ

- とき 11月12日(土)・26日(土) 10時30分～11時30分
- 対象 幼児から小学校低学年まで

■FUMFUM(フムフム)による読み聞かせ

- とき 11月25日(金) 11時～11時30分
- 対象 0歳～5歳くらいまで

ひじ産業まつり

町内企業の紹介や、地元でとれた農産物などの展示・販売を行います。

他にも、日出町親善大使による歌謡ショーなどのステージイベントもあります。

会場 日出町中央公民館
町営体育館

駐車場 大田公園と高校跡地

開催日 11月27日(日)

9時30分～15時30分

『しし鍋』・『苗木』無料配付あり

内容

- ・農林水産部門
農林水産物、海産物、加工品の販売。
農漁村女性団体等によるレストラン。
- ・商工業部門
町内企業の事業PRや製品販売、町の特産品販売。
- ・その他
河内明美さんによるステージショーやキティ達によるショー、もちまきなど。

問合先 農林水産課 ☎ 73 - 3127

商工観光課 ☎ 73 - 3158

募集

放送大学4月生募集

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史など幅広い分野を学べます。

▼出願期間 11月15日(火)～2月29日(水)

▼資料請求・問合先

放送大学大分学習センター
☎ 097-549-6611

講座

子育て支援UPプログラム「パソコン講座」

有料託児あります。

○とき 12月6・13・20日

10時～12時(毎週火曜日)

○ところ HITコミュニティセンター

▼受講料 2,500円

【年末年始チェックリスト講座(エクセル)】

○とき 12月1・8・15

22日10時～12時(毎週木曜日)
○ところ 町保健福祉センター

▼受講料 2,800円

【手芸と「ラボ・X'masカード講座(ワード)】

○とき 12月2・9・16日

10時～12時(毎週金曜日)

○ところ HITコミュニティセンター

▼受講料 2,500円

▼募集期限 11月22日(火)
▼申込・問合先
パワーウェーブ日出 ☎ 75-8637

薬物依存症家族学習会

わが国では、覚醒剤、大麻、シンナー、処方薬など薬物の乱用者は300万人を超えるといわれています。薬物依存は本人だけでなく、周囲の方々に深刻な影響を及ぼします。薬物依存症の問題を持たれている方のご家族を対象に、ご本人の回復に向けて、薬物依存症について学び合う「薬物依存症学習会」を開催します。参加費無料。

消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

医療法人
久寿会



鈴木病院

速見郡日出町3904番6
TEL(代) 0977-73-2131

すずらんクリニック
介護施設すずらん

速見郡日出町藤原1691番地1
TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

リフォーム・新築工事

既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
有限会社 樋口建設

樋口 浩 一級建築士事務所

一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎ 72-8486
<http://www.higuchi-y.com> FAX 72-9595

【第1回】

▼とき 11月30日(水) 13時30分～15時30分

▼内容

○薬物依存症者の理解と対応
○参加者同士の交流

【第2回】

▼とき 12月14日(水) 13時30分～15時30分

▼内容

○当事者・家族の体験発表
○参加者同士の交流

▼方法 講話・話し合い

▼ところ 大分県こころとからだの相談支援センター
▼申込受付期間 9月30日

(金)～11月22日(火)

▼申込・問合せ先 大分県こころとからだの相談支援センター ☎097-541-5276

親子料理教室

園児・児童と保護者の24組を対象に開催します。

▼とき 12月3日(土) 10時～13時

▼ところ 別府大学

▼申込締切日 11月26日(土)

▼費用 保護者500円、園児と児童1人目300円、2人目から200円

▼持ち物 エプロン、三角巾、園児・児童の皆さんは上履き

▼問合せ先 別府大学食物栄養学科 ☎66-9630

消防設備点検資格者講習

▼申請期間 12月2日(金)～12月27日(火)

▼受講料 第1種・第2種の区分ごとに31,000円(テキスト代含む)

○前期受講料のほか、合否判定通知郵送料80円が必要となります。

▼とき 第1種消防設備点検資格者 平成24年1月11日(水)～13日(金)(3日間)

○第2種消防設備点検資格者 平成24年1月18日(水)～20日(金)(3日間)

▼ところ 新日鐵明野研修センター「攻玉寮」

▼申請書提出・問合せ先 県消防設備安全協会 ☎097-537-3125

その他

きのみフェスタ

地域の方々と共に活動することにより、相互の理解を深め、障がい者の地域生活を推進することを目的に開催します。

▼日程(予定) ○グラウンドゴルフ大会 9時～12時

○オープニングセレモニー 10時～10時30分

○陸上自衛隊音楽隊慰問演奏 10時45分～11時25分

○アトラクション 11時35分～14時30分

○物品販売・模擬店

○パネル店・作品展

○お楽しみ抽選会 14時40分～15時

▼とき 11月19日(土)

▼ところ 杵築市健康福祉センター

▼問合せ先 樹の実園 ☎0978-62-2111

休日エイズ検査 HIV抗体迅速検査は匿

町民文芸

藤原 木付 順子

中点にかかりし名月煙々と多難を下界をまねく照らす

大神 北野ヤスエ

台風の過ぎて夕べを突然に軒下に来てツツウ虫鳴く

藤原 上田 靖子

半世紀経てうから等は日出町～ほみよき所と喜び合えり

川崎 立石 初子

刻々と手術近づき寝返れば家より届く梔子匂う

豊岡 森永三千代

足元のかすかな冷えに秋を知る

日出 永松美知子

行く人に道をゆずりし花野かな

日出 大野 仁王

秋の蚊の真直ぐにきて腕を刺し

豊岡 坪田 京子

名月や夜堂と湾の向かい合ふ

藤原 岸川 房子
十五夜を親でいてそと肩寄せる
日出 定平 勝義
隅樽 昔を忍ぶ 文化財

一般歯科・矯正歯科・小児歯科

山下歯科医院

YAMASHITA DENTAL

陽谷駅前、サンライズ酒井病院よこ

診療時間
平日：9:00～13:00 / 14:30～19:00
土：9:00～13:00 / 14:30～18:00
休日：木・日・祝

速見郡日出町3184番地 TEL.0977-28-0058

腎臓内科 循環器科 内科 血液透析

こうまつ循環器科クリニック

医療法人 泰晋会 日本循環器学会認定 循環器専門医 医学博士 院長 幸松晃正

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
14:30～18:00	●	●	●	●	●	●

休診日：日曜・祝日

速見郡日出町3852番地6ベスト電器前 ☎(0977)73-0077 <http://koumatu.or.jp/>

九州矯正展

名・無料、結果は採血後約30分で判明します。希望される方は、必ず事前に電話による予約をしてください。
 ▼とき 12月4日(日) 9時～16時
 ▼ところ 東部保健所
 ▼申込・問合せ エイズ相談電話 ☎67-7040

大分刑務所では「社会を明るくする運動」の一環として、九州・沖縄地方の矯正施設による九州矯正展を開催します。入場無料。
 ▼内容 刑務所作業製品や少年院職業補導製品(野菜を含む)の展示即売、施設見学、刑務作業体験・実演コーナー、矯正広報コーナー等
 ▼とき 11月19日(土) 9時～16時

○11月20日(日) 9時～15時
 ▼ところ 大分刑務所
 ▼問合せ 大分刑務所 ☎097-546-3153
ご存じですか！ 検察審査会
 交通事故等の犯罪の被害にあったが検察官がその事件を起訴してくれない、このような不満をお持ちの方はお問い合わせください。

▼問合せ 大分検察審査会事務局 ☎097-532-7161
年金受給者の皆さまへ
 高齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象とされています。(障害年金・遺族年金は課税されません) 対象となる受給者の方には、11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日の提出期限までに必ず提出してください。なお、年金以外に収入がある方は確定申告が必要です。
 ▼年齢
 ○65歳未満 年金額が108万円以上
 ○65歳以上 年金額が158万円以上
 ▼問合せ 別府年金事務所 ☎22-5111
原子爆弾被爆者二世に対する無料健康診断
 健康診断を希望される方

車いすマークの駐車場！ 思いやりの気持ちで利用しよう

大分あったか・はーと駐車場利用証制度 (パーキングパーミット制度)

大分県では、ショッピングセンターや公共施設などに設置された車いすマークの駐車場を適正に利用していただくため、障がいのある方など歩行困難な方に、県内共通の利用証を交付する「大分あったか・はーと駐車場利用証制度」を導入します。

健常者の方が「少しの時間だから・・・」などの理由で駐車することのないよう、一人ひとりがゆずりあいや思いやりの心を持ち、誰もが安心して暮らしていけるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

利用対象者

障がい、高齢、難病などにより歩行が困難な方。妊産婦、けがなどにより一時的に歩行が困難な方。

利用証の取得方法

大分県東部保健所(別府市)、同保健所地域福祉室(日出町)、日出町社会福祉協議会等、日出町福祉対策課。

申請受付開始 12月1日(木)

問合せ

大分県地域福祉推進室 地域福祉班 ☎097-506-2622

杵築速見消防本部の新庁舎が完成



杵築速見消防本部の新庁舎

杵築速見消防本部新庁舎(杵築市)が完成し、11月1日より稼働を開始します。管内からの119通報は、今後消防本部で「一括受信」します。

従来は、日出町内で119通報をすると「日出消防署です」と、応答していましたが、今後は「杵築速見消防本部です」と応答されますので注意してください。

問合せ 杵築速見消防本部 ☎0978-62-4341

東日本大震災義援金のお礼

10月11日現在、日出町に集まった義援金の総額は17,251,563円です。

今月号は、7月19日から10月20日までに、1万円以上の義援金を寄せていただいた方のみ氏名を掲載しています。ご支援ありがとうございます。

日出町弓道会	18,406円
匿名	10,000円
安部君子	30,000円
昭和25年豊岡町立豊岡中学校卒業 喜寿同級会一同	30,000円
匿名	10,000円
日出町職労青年部	10,000円
法花寺区	18,000円
幸喜屋設置募金箱	11,880円
フルゴスベル大分教会	100,000円

〔正社員〕

求人

は、住所地の保健所に連絡をして申し込みを行ってください。受診日については、保健所と相談してください。

▼対象者 両親、又はそのどちらかが原子爆弾被爆者で、県内にお住まいの方

▼申込期間 10月31日(月)～12月9日(金)

▼申込・問合せ先 東部保健所 ☎67・2511

- 薬剤師3人 ●医療アシスト1人 ●看護師5人 ●介護職員11人 ●営業5人 ●製造(障がい者)1人 ●経理(障がい者)1人 ●製造技術(障がい者)1人 ●設計(障がい者)1人 ●人事総務(障がい者)1人 ●電気技術者1人 ●設計技術者1人 ●現場管理者4人 ●塾講師2人 ●成形オペレーター2人 ●電気工事士2人 ●自動車板金塗装工1人 ●自動車整備工1人 ●土木及び建築作業2人 ●管理者1人 ●クレーンオペレーター1人 ●歯科衛生士2人 ●歯科助手1人
- 〔パート〕
- 送迎員2人 ●ホームヘルパー3人 ●家庭教師3人 ●正看護師3人 ●清掃員9人 ●警備員3人 ●准看護師2人 ●介護職員1人 ●製造工2人 ●ハンパー類の製造・販売5人 ●フロント1人 ●作業員5人 ●看護師2人 ●販売員3人 ●歯科助手1人 ●歯科衛生士2人 ●配達員2人 ●選別作業員3人 ●ネット通販業務1人 ●客室清掃1人 ●訪問調査員1人 ●食器片付け2人 ●食器洗浄員3人 ●サービスタッフ10人 ●調理補助1人 ●薬剤師2人 ●マネキン人形の生産・修理5人 ●接客調理2人 ●調理員1人 ●成形オペレーター1人 ●製品検査員2人 ●食品加工販売2人 ●葱調整作業5人 ●店内業務5人

船尾 瑞穂(修 高平)
三浦 絢菜(雄 薄尾)

お誕生おめでとう

() 内は保護者名・地区名

▼問合せ先 ハローワーク別府 ☎23・8609 町商工観光課 ☎73・3158

大塚 達雄 (87 是城)	堀 妃代莉 (宗司 太田)
山中スズ子 (79 宮の下)	野見山 藍 (和貴 太田)
脇 信嗣 (74 豊岡本町)	安部 佳音 (和哉 太田)
岩尾 彰 (58 影平)	手嶋 奏介 (隼也 影の木)
小屋 徹 (69 堀)	堀 紗友里 (力 西の三)
横山智慧子 (93 日出岡地)	佐藤 絢菜 (伸也 団地北)
古庄 英明 (70 南部)	佐藤 匠真 (弘基 佐尾)
児玉 静男 (85 三尺山)	矢ヶ部 航大 (純一 上仁王)
	長野 蒼空 (敏幸 東仁王)
	尾崎 友郁 (昌宏 南部)
	堀尾 壮真 (壮平 中部)
	土谷 唯 (律文 平原)
	遠藤 慈采 (克尚 平原)
	井口 音和 (錠治 内野)
	深田 美月 (孝行 三尺山)
	田口ふたば (正法 高尾)
	大川 瑠志朗 (行博 軒の井)

〔真福をお祈りいたします〕

() 内は行年・地区名

平成23年度日出町成人式のお知らせ



昨年の成人式の様子

とき 平成24年1月8日(日)
受付10時～/式典11時～

場所 町中央公民館ホール

対象者 平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの方
*町内の中学校卒業生及び住民票のある方にはご案内致します。

申込・問合せ先 生涯学習課 ☎73-3156



地域に元気を取り戻したい
およそ50年ぶりに、みこしの巡業が復活



No. 20

びと

輝くひび人 ☆

甲斐 弘凱さん(67)
(豊岡本町)

10月30日、豊岡本町の天満社で例大祭が開催され、およそ50年ぶりに本みこしの巡業が行われました。

今年の4月から天満社の総代長を務める甲斐弘凱さんを中心に、総代や地元有志が協力、本みこしの巡業復活に向け準備を進めてきました。

「地域の絆が大切」と話す甲斐さん。昔は何か困ったことがあれば、近所同士助け合いながら暮らしていました。

「人のつながりがあまり感じられない、さみしい時代になりました」。甲斐さんは、地域のみなが活気づき楽しく暮らせる町にしたいと、4年前から地元の有志らと豊岡漁港を拠点に、さまざまなイベントを企画してきました。

今回、本みこしの巡業復活は、別府湾ロイヤルホテルの前支配人である、小川大三郎さんにみこしを見せたことから始まりま

した。これまでも、小川さんにはイベント実施にあたり多方面から協力してもらっていたそうです。

「こんな良いものを眠らせておくのはもったいない」と言う小川さんの言葉に、甲斐さんはみこしの巡業復活を決意しました。

およそ50年もの間、神楽殿の蔵に保管されていたみこしを運びだし、傷み具合をチェックしました。塗装のはがれなどがあり専門業者に相談したところ、修復に200万円ほどかかると言われました。

そんなお金はないと、業者の方に相談しながら、自分たちで修復作業を始めました。

取材に伺った10月6日、甲斐さんは地域の方数人と一緒に、みこしの塗装をはがす作業をしていました。

「大祭まで時間がない。なんとか間に合わせないと」、大祭までにみこしの修復や衣装のこと、

担ぎ手集めなど、やらなければいけないことがまだまだたくさん残っています。

地域の方も、およそ50年ぶりの再開を楽しみにしているそうです。

「地域に元気を取り戻したい。年に1度のお祭りかもしれないが、これが地域おこしの第一歩になってくれればうれしい」と話してくれました。

日出町の人のうごき

平成23年10月1日現在の
住民基本台帳の登録人口

世帯数	11,538 (+ 7)	+ 90
人口	28,653 (+ 7)	+ 43
男	13,699 (- 4)	+ 22
女	14,954 (+ 11)	+ 23
南端	321 (+ 2)	
豊岡	7,291 (+ 7)	
日出	5,835 (- 29)	
藤原	3,868 (+ 3)	
川崎	5,867 (+ 21)	
大神	5,471 (+ 3)	

() 内は前月比

□ 内は今年4月1日比